

日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031 2016年
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com 2月15日発行

3・1ビキニデー集会まで2週間 代表派遣に全力を！

2016年3・1ビキニデー集会まで二週間となりました。核兵器全面禁止の実現へ、新たな行動を発展させる場、また「核の傘」から離脱し、被爆国にふさわしい活動する国となるよう、戦争法廃止 2000万人署名など草の根の行動を発展させることしの3・1ビキニデー集会への期待がひろがっています。

ビキニデーへ、青年学生ツアー 事前の学習力に大奮闘！

愛知県青年学生ツアー「ガッツ」事務局は、ことしのビキニデーにツアーを計画し、多くの学生を派遣しようと頑張っています。

2月15日、県原水協事務局長の横江英樹さんを講師に迎え、ビキニ事件と原水爆禁止運動と題して学習会を行いました。横江さんからビキニ事件の真相、今年のビキニデー集会の特徴や意義について話していただきました。約10人の学生が参加し、「核兵器はなくすべき」「第五福竜丸以外にも被害があったことは初耳だった」などの感想が寄せられました。ビキニデーには現在、10人が参加予定（目標20人）で、学習会の参加者からも「行きたいから申込みを考えます」と複数声が上がっています。

学習会後には大須観音（名古屋市中区）前で署名行動に取り組みました。約1時間の取り組みで「核兵器全面禁止のアピール」署名を31筆集めました（写真右）。今回始めて署名行動に参加した学生もやりがいを感じています。「核兵器はなくしてほしい」「北朝鮮の核実験が怖かった」という街頭の反応がありました。今後も学生ツアー事務局として8月の世界大会に向け定期的に署名行動にとりくみます。



30名目標達成めざし奮闘中！

高教組は各支部1名の目標で10名確認——長野県原水協

長野県原水協は、ビキニデーに30名派遣を目標に「各地域原水協、各加盟団体で1名は派遣しよう」と呼びかけています。毎年高教組は10支部から1名を募金で派遣していますが、これは世界大会も平和大会もビキニデー集会も支部1名派遣が長年伝統として引き継がれていることが力になっています。

例年長野からのビキニ派遣はこの高教組が中心でしたが、最近はいくつかの地域原水協や、民医労など団体が積極的に取り組むようになりました。今年は現在20名の参加が確認され、目標達成に向けて奮闘中です。